



## 平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ラピーヌ

コード番号 8143 URL <http://www.lapine.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 青井 康弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長

(氏名) 尾崎 史照

TEL 06-6358-2256

四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	8,186	△4.8	62	△83.7	25	△93.5	321	△10.7
27年2月期第3四半期	8,600	△0.9	382	△11.2	395	△7.1	359	△18.6

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 267百万円 (△31.4%) 27年2月期第3四半期 389百万円 (△24.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	138.50	136.31
27年2月期第3四半期	154.64	152.73

(注) 平成27年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	11,313		7,735	68.1			3,319.49	
27年2月期	11,941		7,545	63.0			3,240.57	

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 7,701百万円 27年2月期 7,520百万円

(注) 平成27年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年2月期	—	0.00	—		
28年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成28年2月期(予想)期末の1株当たり配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成28年2月期(予想)期末の1株当たり配当金は2円となり、1株当たり年間配当金につきましても2円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△3.2	△300	—	△340	—	△130	—	△56.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成27年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成28年2月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	2,767,064 株	27年2月期	2,767,064 株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	447,087 株	27年2月期	446,395 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	2,320,250 株	27年2月期3Q	2,326,680 株

(注)平成27年9月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式併合を実施したと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は平成27年5月27日開催の第67回定時株主総会において、株式併合、単元株式数の変更について承認可決されたことに伴い、平成27年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施し、単元株式数を1,000株から100株へ変更しております。なお、株式併合考慮前に換算した平成28年2月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

- 1. 平成28年2月期の配当予想
  - 1株当たり配当金
  - 期末 2円00銭
- 2. 平成28年2月期の連結業績予想
  - 1株当たり当期純利益
  - 通期 Δ5円60銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済環境は、政府、日銀による経済政策や金融緩和策を背景に円安・株高傾向が継続する中、輸出関連企業が牽引して企業収益や労働需給に改善の動きが見られるなど、緩やかな回復基調にありました。

当社グループが属するアパレル業界におきましては、インバウンド需要により一部の高額品で売上増加が見られたものの、総じて消費者の節約志向は依然として根強く、加えて輸入原材料価格の高止まりや天候不順の影響もあり、当社グループを取り巻く経営環境は、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは主力とする専門店、百貨店卸売事業の販売効率改善に向け、商品提案力と販売促進策の強化など店頭活性化を図る営業活動に努めるとともに、直営小売事業の拡大を図るほか、ブランドの統廃合やコスト合理化策にも取り組んでまいりました。

しかしながら、婦人衣料を中心とするアパレル消費が力強さを欠く中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は81億86百万円（前年同期比4.8%減）にとどまり、損益面におきましても、営業利益は62百万円（前年同期比83.7%減）、経常利益は25百万円（前年同期比93.5%減）となりました。また、四半期純利益は、大阪府箕面市の土地及び建物の売却益や投資有価証券売却益を加え、3億21百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

## &lt;卸売事業&gt;

消費者に満足される新商品の開発、企画生産体制の見直しによる商品の適量適時コントロール、お得意先店頭を重視した営業活動による業績の確保に努めてまいりましたが、消費者の買い控えの意識は高く店頭売上が低迷し、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は63億59百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は2億51百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

## &lt;小売事業&gt;

既存店につきましては、業態、店舗単位の損益改善を重視、顧客満足に適合する商品品揃えや来店頻度アップにつながる効果的な販売促進策を実行して売上拡大に取り組んでまいりました。また、新しく服飾雑貨を主体としたセレクトショップ事業をスタートし、東京都渋谷区の渋谷ヒカリエシックスに続き、同新宿区のルミネ新宿に出店いたしました。

しかしながら、当社が運営する直営小売事業の不振から、当第3四半期連結累計期間の売上高は18億19百万円（前年同期比0.4%減）となり、営業損益は新規出店のインシャルコスト負担が先行し、1億69百万円の損失（前年同期は61百万円の損失）となりました。

直営店数につきましては、当第3四半期連結累計期間中に当社の直営小売店3店を出店、同1店を退店、子会社の株式会社ペルラピカの直営小売店合計6店を出店、同1店を退店し、同期間末の運営店舗数は当社グループ合計48店となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億28百万円減少し、113億13百万円となりました。これは主に、商品及び製品の増加3億42百万円等があった反面、現金及び預金の減少3億60百万円、投資有価証券の売却による減少2億52百万円等があったことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて8億17百万円減少し、35億78百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少5億93百万円、未払消費税等の減少1億16百万円等があったことによるものです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億89百万円増加し、77億35百万円となりました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が2億35百万円増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の通期連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く環境並びに当第3四半期連結累計期間の業績進捗状況を踏まえ、平成27年10月9日に公表いたしました業績予想数値から変更しております。その詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の連結業績予想につきましては現時点での見通しであり、今後の企業を取り巻く環境の変化により計画との乖離が発生し、その結果、業績予測に修正が必要と判断された場合は、速やかに業績予想に関する修正開示をさせていただきます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、退職給付の見込支払日までの平均期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が39,093千円増加し、利益剰余金が同額減少しております。なお、当該変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,361,831	1,001,205
受取手形及び売掛金	1,483,668	1,588,505
商品及び製品	2,182,804	2,525,444
仕掛品	279,290	186,463
原材料及び貯蔵品	64,864	54,914
繰延税金資産	161,847	168,448
その他	190,120	111,193
貸倒引当金	△2,510	△2,620
流動資産合計	5,721,917	5,633,555
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,319,274	1,243,169
機械装置及び運搬具（純額）	23,557	23,931
土地	3,341,243	3,212,243
その他（純額）	107,138	114,043
有形固定資産合計	4,791,213	4,593,387
無形固定資産		
その他	22,964	21,123
無形固定資産合計	22,964	21,123
投資その他の資産		
投資有価証券	592,754	340,151
差入保証金	723,822	647,197
その他	131,327	115,328
貸倒引当金	△42,505	△37,571
投資その他の資産合計	1,405,398	1,065,106
固定資産合計	6,219,576	5,679,616
資産合計	11,941,493	11,313,172

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	813,886	773,684
1年内返済予定の長期借入金	701,084	672,284
未払金	481,495	420,406
未払費用	42,351	70,157
未払法人税等	29,717	42,538
返品調整引当金	84,800	92,700
ポイント引当金	27,007	32,632
資産除去債務	2,410	3,701
その他	221,670	69,004
流動負債合計	2,404,423	2,177,108
固定負債		
長期借入金	1,608,806	1,044,293
退職給付に係る負債	167,253	172,162
資産除去債務	65,303	55,710
その他	150,289	128,860
固定負債合計	1,991,651	1,401,027
負債合計	4,396,075	3,578,135
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,354,021	4,354,021
資本剰余金	2,021,378	2,021,378
利益剰余金	1,516,289	1,752,145
自己株式	△544,091	△544,935
株主資本合計	7,347,598	7,582,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	208,419	144,245
繰延ヘッジ損益	△338	△550
退職給付に係る調整累計額	△35,390	△25,175
その他の包括利益累計額合計	172,690	118,519
新株予約権	25,130	33,907
純資産合計	7,545,418	7,735,036
負債純資産合計	11,941,493	11,313,172

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	8,600,282	8,186,823
売上原価	4,555,944	4,399,364
売上総利益	4,044,337	3,787,459
販売費及び一般管理費	3,661,929	3,725,138
営業利益	382,408	62,320
営業外収益		
受取利息	5,587	990
受取配当金	7,889	6,775
為替差益	10,182	6,664
助成金収入	6,213	12,638
その他	22,329	24,079
営業外収益合計	52,201	51,147
営業外費用		
支払利息	31,805	24,321
支払手数料	6,763	62,431
その他	578	1,061
営業外費用合計	39,147	87,815
経常利益	395,462	25,653
特別利益		
固定資産売却益	42	264,171
投資有価証券売却益	6,437	123,211
事業所閉鎖損失戻入額	2,465	—
特別利益合計	8,945	387,383
特別損失		
固定資産除売却損	2,428	2,126
投資有価証券売却損	—	3,561
減損損失	1,007	3,056
事業所閉鎖損失	0	41,598
その他	30	619
特別損失合計	3,466	50,961
税金等調整前四半期純利益	400,941	362,075
法人税、住民税及び事業税	49,198	46,822
法人税等調整額	△8,047	△6,110
法人税等合計	41,151	40,712
少数株主損益調整前四半期純利益	359,790	321,363
四半期純利益	359,790	321,363



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	359,790	321,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,295	△64,173
繰延ヘッジ損益	3,297	△212
退職給付に係る調整額	—	10,214
その他の包括利益合計	29,592	△54,171
四半期包括利益	389,383	267,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,383	267,192
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年3月1日至平成26年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,765,233	1,827,378	8,592,611	7,670	—	8,600,282
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,765,233	1,827,378	8,592,611	7,670	—	8,600,282
セグメント利益又は損失(△)	456,523	△61,633	394,890	△12,482	—	382,408

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年3月1日至平成27年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	6,359,502	1,819,680	8,179,182	7,640	—	8,186,823
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,359,502	1,819,680	8,179,182	7,640	—	8,186,823
セグメント利益又は損失(△)	251,283	△169,174	82,108	△19,788	—	62,320

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。